

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

N o . 5 2

2 0 1 8 年 3 月 1 2 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

貨物鉄産労第3回団体交渉

定期昇給4号俸の実施を確認

～会社は「ベースアップの実施は困難」との考えを示す～

貨物鉄産労は、3月9日、第3回団体交渉を行った。

交渉で会社は、「定期昇給については4号俸実施する」との考えを示したものの、ベースアップについては、この間、一時金や福利厚生の充実、職場環境整備などの人的投資を強化してきたことや、2年間で1号俸の加給を実施したこと、今年度の通期業績予想が厳しいことや、来年度においても外的要因による費用増を見込んでいることなどを理由に、「実施は困難」との考えを示した。また、賃金引き上げ要求以外の諸要求については、引き続き協議していくと述べた。

これに対して組合は、この間のJ R 貨物に係る税制特例措置の継続適用にむけた取り組みを主張するとともに、グループ会社を含めた社員への投資を改めて訴えたうえで、「19年連続のベアゼロは到底納得できない」と指摘。回答日には、誰もが納得できる回答を提示するよう求めた。

貨物鉄産労は、ベースアップをはじめとする諸要求の実現にむけて、最後の最後まで粘り強く協議していくこととしている。